



毎月25日
発行

デンタルスタッフ☆ ミライ☆プロジェクトニュース

絶対に治せる 歯科衛生士になりたい

歯科衛生士になって20年。患者さんが教えて下さったこと



講演

山崎 瑞穂 先生

岡山県保険医協会主催 DH Pro.セミナー講師

日時
会場

2016.2.28 sun

ピュアリティまきび (岡山市北区下石井)

申込
方法

同封のチラシに必要事項を記入し、
FAX (086) 277-3371
までお送り下さい。

協会HPからも申込み
ができます。



満員
御礼

岡山県保険医協会主催
DH Pro.セミナーは、
満席となりました。

今後のお申込みは、キャンセル待ち
のご案内となります。詳しくは、
協会TEL (086) 277-3307までお
問い合わせ下さい。



DH Proセミナー講師
山崎瑞穂先生による
コラムのコーナー

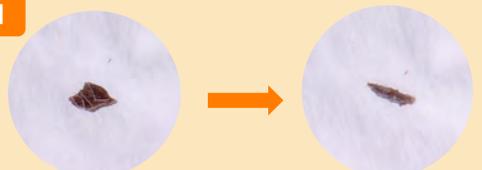


歯肉縁下歯石の沈着パターンも、色々なタイプがあります。棚状や環状、塊状など、突起状に沈着していると明らかにその存在に気付く事が出来ますが、砂状の細かな歯石や薄く板状(図1参照)で全体を覆うように沈着していたり根面溝や凹みにへばりついている歯石は、インスツルメントやプローブでも判断がつかないことがあります。

また右図(図2参照)のように、一見多量の縁下歯石が沈着しているように見えますが、実はセメント質が発達しすぎて添加している状態です。歯石同様に細菌の温床となり、歯周病が進行してしまうこともあります。

「右下7.6番は抜歯に、右下5.4番は何とか保存したい」という患者の希望もあり、SRPを行いました。現在SPTで経過観察中です。(図3参照)

図1



上図の歯石を
起こしてみると

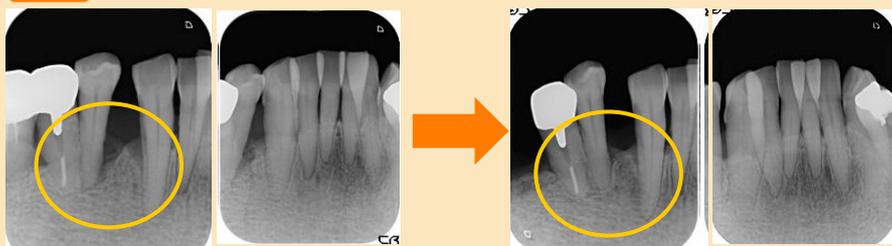
薄い板状である
ことがわかる

図2

2013年6月12日 初診時



図3



2013年6月12日 初診時

2015年3月20日 SPT時

このように除去できる凸とできない凸とがあり、事前の診査と実際にインスツルメントやプローブで確認し改善が可能かどうか見極める必要があります。細菌の温床となっている感染源を除去するには、根面の凹凸をなるべく無くしスムーズな根面にした方がよいです。

上記の写真は、患者様より承諾を頂き掲載しています。